

インフルエンザ週報 2026年 第5週 (1月26日～2月1日)

岡山県は『インフルエンザ警報』を発令中です

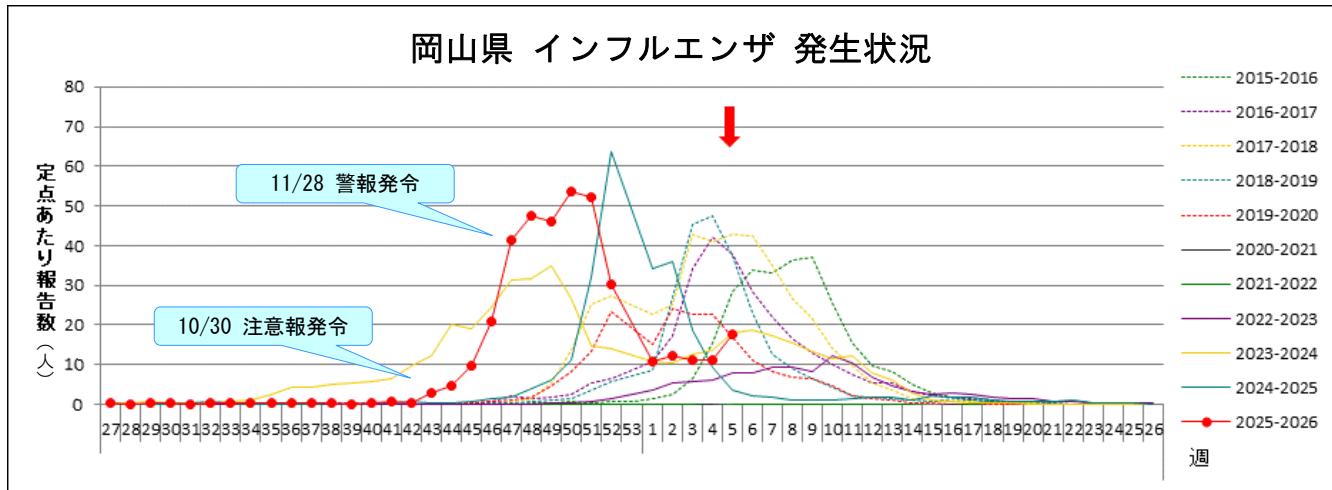
【お知らせ】次週、2026年第6週(2/2～2/8)のインフルエンザ週報は、2026年2月16日(月)にホームページへ掲載いたします。

岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で876名(定点あたり17.52人)の報告がありました(50定点医療機関報告)。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が82施設ありました。
- インフルエンザによる入院患者4名の報告がありました。

【第6週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が90施設ありました(2月2日～4日)。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

※2025年第15週以降定点がインフルエンザ/COVID-19定点(84医療機関)からARI定点(50医療機関)になりました。

インフルエンザは、県全体で876名の報告があり、前週から増加しました(定点あたり11.06→17.52人)。

岡山県は11月28日に『インフルエンザ警報』を発令し、広く注意を呼びかけています。

地域別では、備中地域(37.00人)、倉敷市(18.17人)、岡山市(18.11人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。

県内の発生状況に注意するとともに、基本的な感染防止策(換気や手洗い・手指消毒、場面に応じてのマスクの着用を含めた咳エチケットなど)に留意し、感染対策に努めましょう。

◆インフルエンザが流行中です。感染に注意しましょう◆

【感染防止策の徹底】

- ・場面に応じたマスクの着用、手洗い、手指消毒の実施
- ・室内の適度な湿度の設定、定期的な空気の入れ換え
- ・高齢者や基礎疾患のある方などは、人混みを避ける
- ・十分な休養、バランスのとれた食事
- ・高齢者や基礎疾患がある方など重症化リスクが高い方で、予防接種がまだの方は接種を検討しましょう
- (ワクチン接種により、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があります)

【発熱等の症状が出た時は】

- ・早めに医療機関を受診する
- ・周りの方へうつさないように「咳エチケット」を!
- ・水分を十分にとり、安静にして休養をとる
- ⇒ 詳細は岡山県ホームページ『インフルエンザ対策について』をご覧ください。

1. 地域別発生状況

地域名	発生状況(人)		推移	地域名	発生状況(人)		推移
岡山県全体	患者数	876		備 中	患者数	185	
	定点あたり	17.52			定点あたり	37.00	
岡山市	患者数	326		備 北	患者数	70	
	定点あたり	18.11			定点あたり	17.50	
倉敷市	患者数	218		真 庭	患者数	8	
	定点あたり	18.17			定点あたり	4.00	
備 前	患者数	35		美 作	患者数	34	
	定点あたり	8.75			定点あたり	6.80	

【記号の説明】前週からの推移

: 大幅な増加

: 増加

: ほぼ増減なし

: 減少

: 大幅な減少

大幅 : 前週比 100%以上の増減

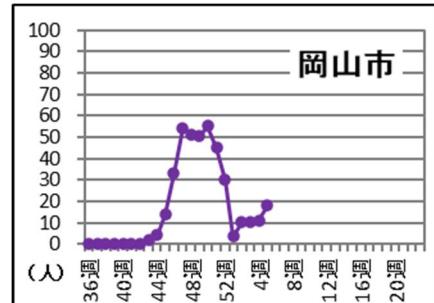
増加・減少 : 前週比 10~100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ

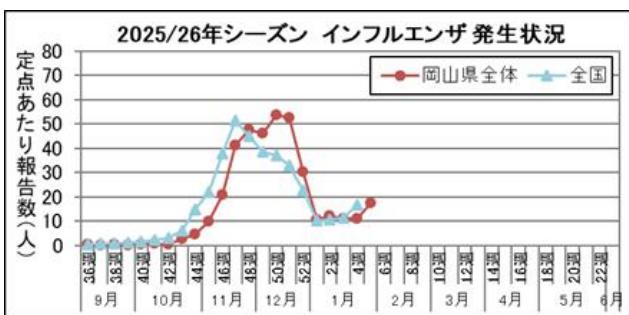
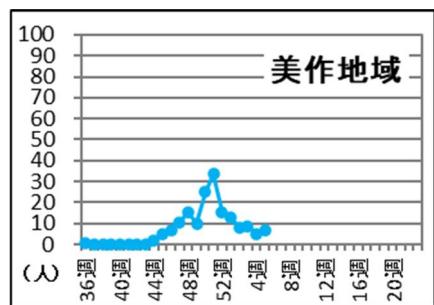
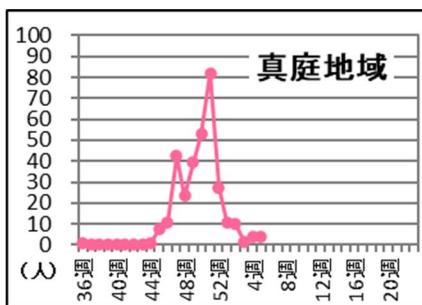
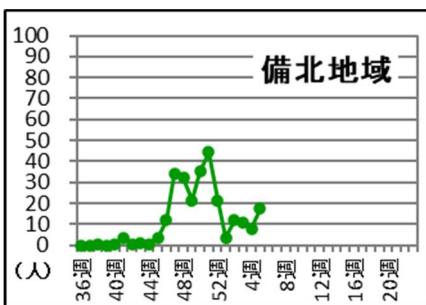
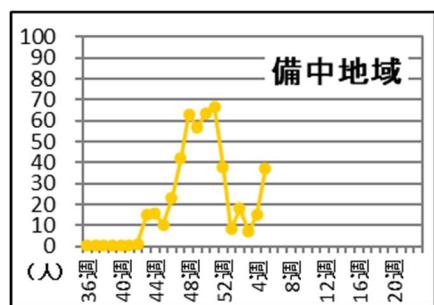
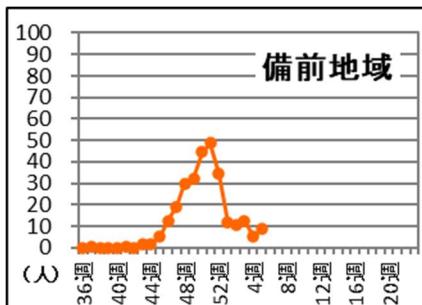
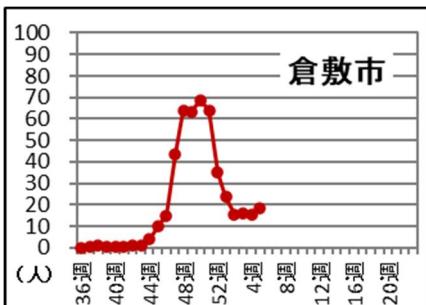


<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0 < 10 未満		0



※数字は定点あたり報告数

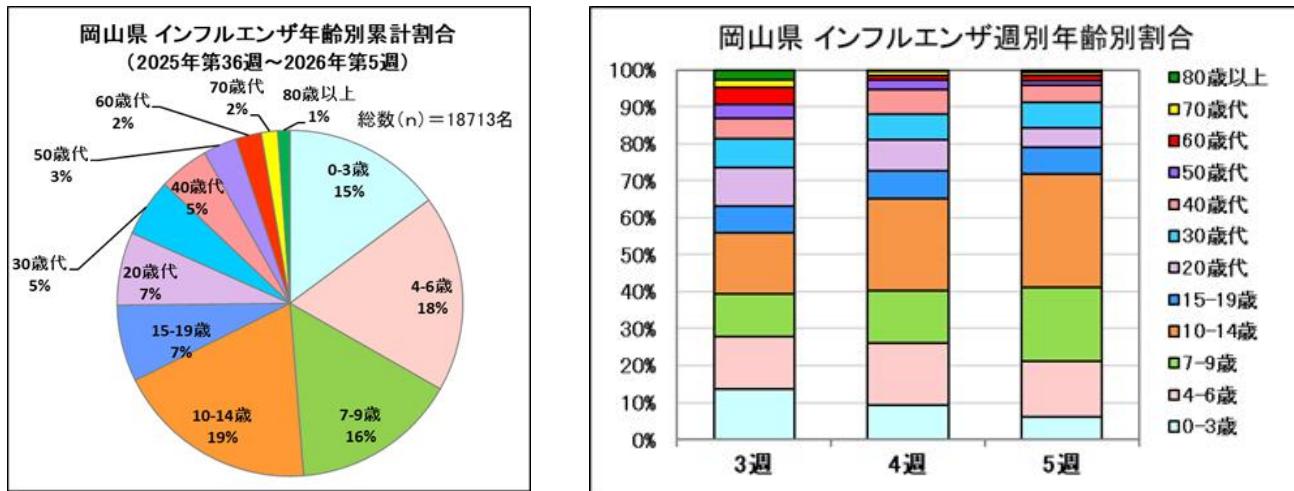


全国集計 2026年第4週(1/19~1/25)速報値によると、全国の定点あたり報告数は、16.64人となりました。

都道府県別では、鹿児島県(35.19人)、宮崎県(29.36人)、大分県(28.90人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。42都道府県で前週の報告数から増加しました。

[インフルエンザの発生状況について\(厚生労働省\)](#)

2. 年齢別発生状況

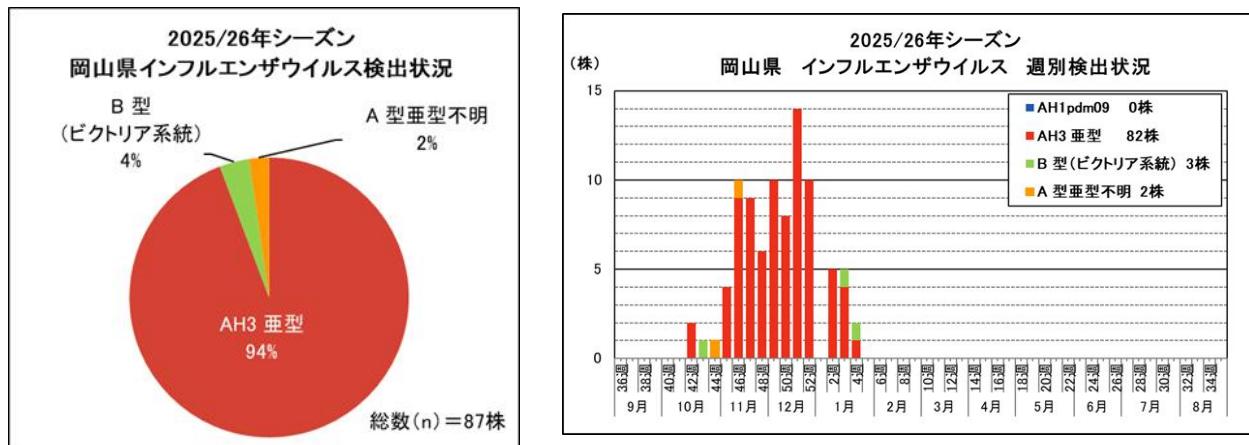


※定点医療機関は、小児科定点（28 医療機関）が内科定点（22 医療機関）に比べて多いため、報告数は小児に偏ります。

3. インフルエンザウイルス検出状況

【岡山県】

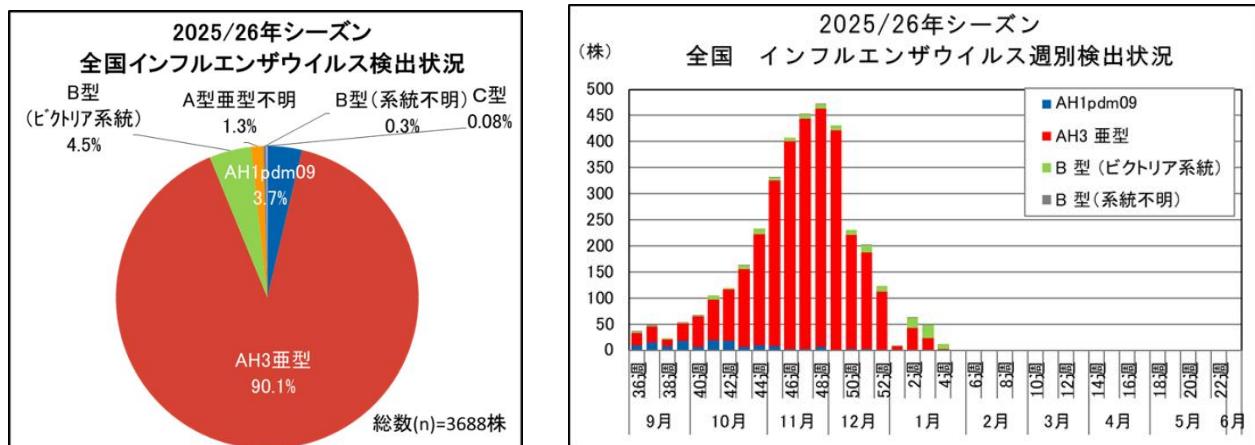
今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは 87 株で、AH3 亜型が 82 株、B 型（ビクトリア系統）が 3 株、A 型亜型不明が 2 株となっています。



【全国】

今シーズン、これまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09 が 136 株、AH3 亜型が 3,323 株、B 型（ビクトリア系統）が 166 株、A 型亜型不明が 48 株、B 型（系統不明）が 12 株、C 型が 3 株となっています（2 月 2 日現在）。

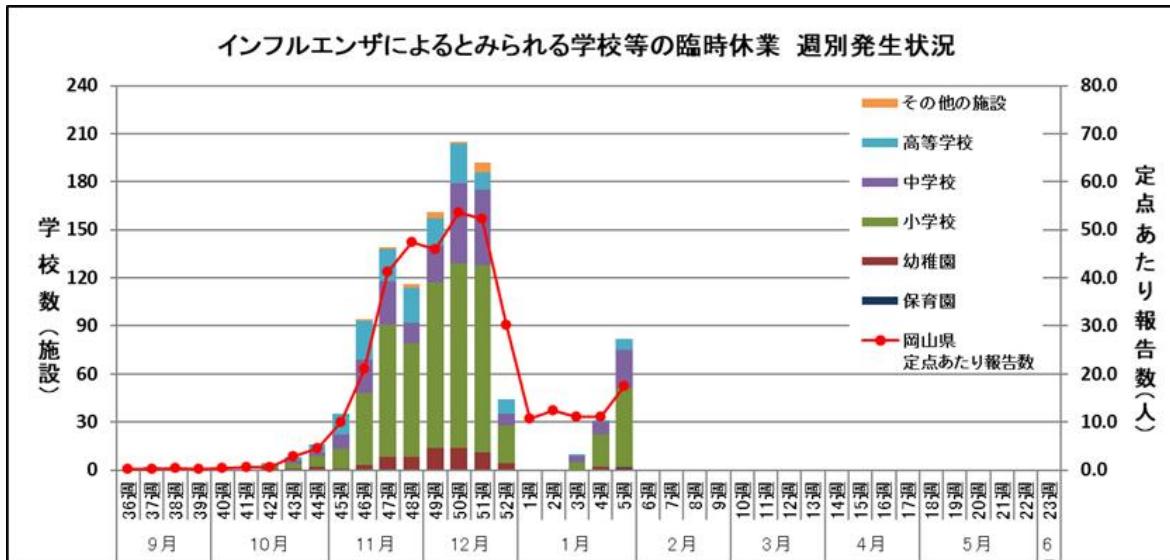
[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立健康危機管理研究機構）](#)



※集計が異なるため一部の型が報告されていません。

4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、82施設ありました。



臨時休業施設数の内訳

	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
第5週	1	1	49	24	7	0	82
累計	1	70	658	237	159	15	1,140

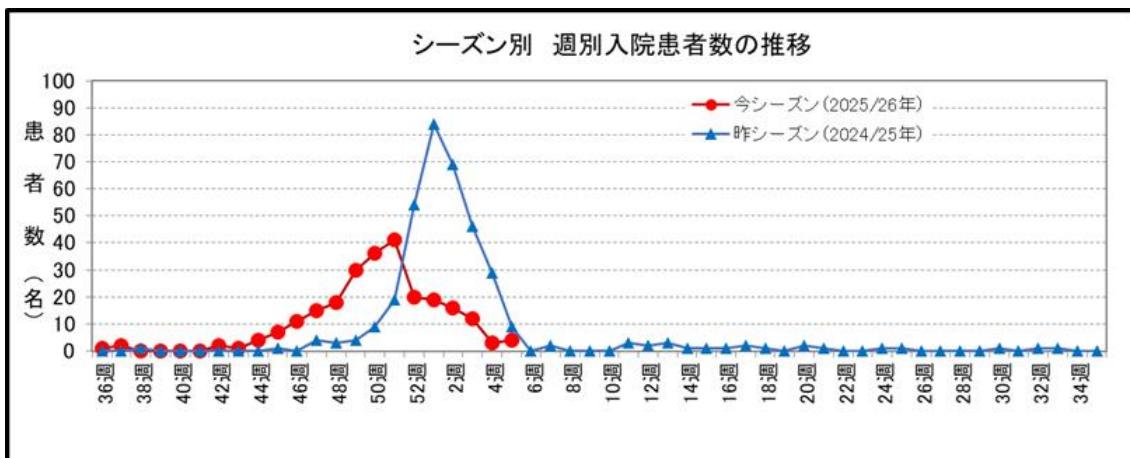
最新の臨時休業の情報については以下のホームページをご覧ください。

→ (R7年度シーズン) 岡山県内の学校等におけるインフルエンザとみられる臨時休業

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点5医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、4名の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化する THERE ことがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずウトウトしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 5 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数		1	1	2									4
ICU 入室 *													
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *													
頭部 MRI 検査(予定含) *													
脳波検査(予定含) *													
いずれにも該当せず		1	1	2									4

* 重複あり

【2025 年 9 月 1 日（第 36 週）以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	16	35	20	20	3	2	3	3	10	21	51	58	242
ICU 入室 *		1	1						1	2	7	2	14
人工呼吸器の利用 *			1			1			1	1	1	2	7
頭部 CT 検査(予定含) *		1						1	1	5	9	8	25
頭部 MRI 検査(予定含) *		8	3	2					1		1	3	18
脳波検査(予定含) *		2							1				3
いずれにも該当せず	16	25	16	18	3	1	3	2	8	15	38	45	190

* 重複あり

[令和7年度 急性呼吸器感染症（ARI）総合対策に関するQ&A（厚生労働省）](#)

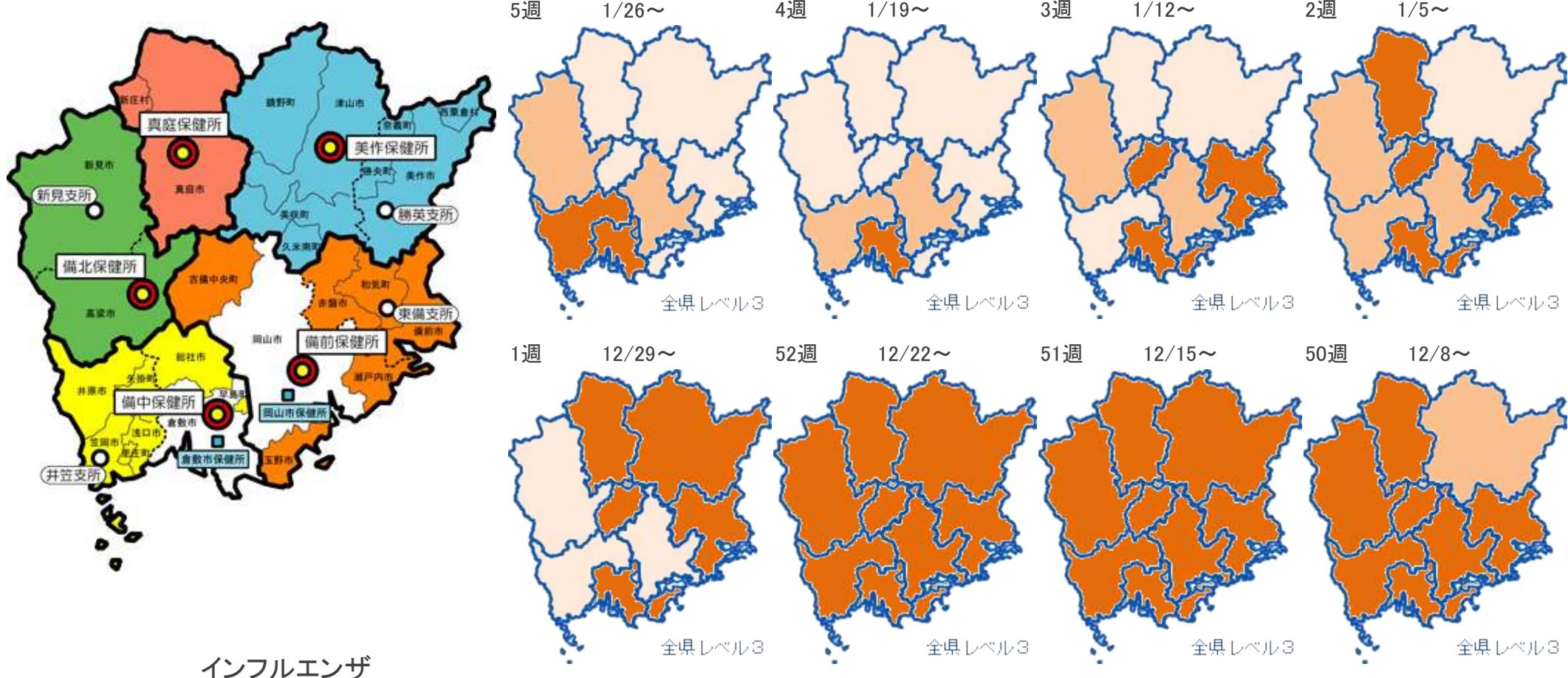
[令和7年度 今冬の急性呼吸器感染症（ARI）総合対策（厚生労働省）](#)



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2026年 5週

2026年2月4日

9:40:55



レベル3	レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満
			0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がるまで
レベル3が継続されます。